

英語科授業案(公開授業I)(各教科の概要・授業案：
英語科)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 佳奈 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024640

英語科授業案（公開授業Ⅰ）

授業者 山田 佳奈

- 1 日 時 平成29年11月9日（木）10:00～10:50
- 2 学 級 1年A組（男子16名 女子24名 計40名）
- 3 単 元 名 My Important Person
- 4 単元目標

（1）各要素と単元目標の関連

意識した要素	単元目標
【要素A】 語、連語及び慣用表現 文法事項	・既習事項についての知識を身に付けている。 （言語・文化についての知識・理解）
【要素B】 自己の思いや考えを言ったり書いたりして相手に伝える力 読んだり聞いたりして内容を理解したり、それに適切に応じたりする力	・自分の大切な人の魅力を相手に説明することができる。 （外国語表現の能力） ・相手の紹介を聞いて、伝えたいことの概要を理解することができる。 （外国語理解の能力）
【要素C】 インタラクション（対話）等のストラテジー（方略）を使おうとする態度 誰とでもコミュニケーションを図り、自他の良さを互いに認め合おうとする態度	・自分の大切な人について積極的に話したり、相手の発表に関心を持ちながら聞いたりすることができる。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度） ・アイコンタクト、はっきりした声、リアクションなどを意識して相手とやり取りすることができる。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

（2）要素育成の判断基準（特に意識したもの）

【要素B】 自己の思いや考えを言ったり書いたりして相手に伝える力

検証方法：追究用紙、行動観察、ボイスレコーダー

3	大切な人の魅力が聞き手に伝わるように、視覚資料を使いながら、魅力に迫る紹介内容を構成し、効果的な発表をおこなうことができる。
2	大切な人の魅力について、既習表現を使ったり語彙知識を生かしたりして説明することができる。
1	大切な人の魅力について、説明することができない。

【要素B】 読んだり聞いたりして内容を理解したり、それに適切に応じたりする力

検証方法：行動観察、ボイスレコーダー

3	相手の発表を聞いて、伝えたいことの概要を十分理解し、相手の大切な人の魅力について自分の言葉で説明したり、さらに知りたいことを質問したりすることができる。
---	--

2	相手の発表を聞いて、伝えたいことの概要をおおよそ理解し、印象に残ったことについて自分の言葉で説明したり、分からなかったことを相手に聞き返したりすることができる。
1	相手の発表を聞いて、伝えたいことの概要を理解することができない。

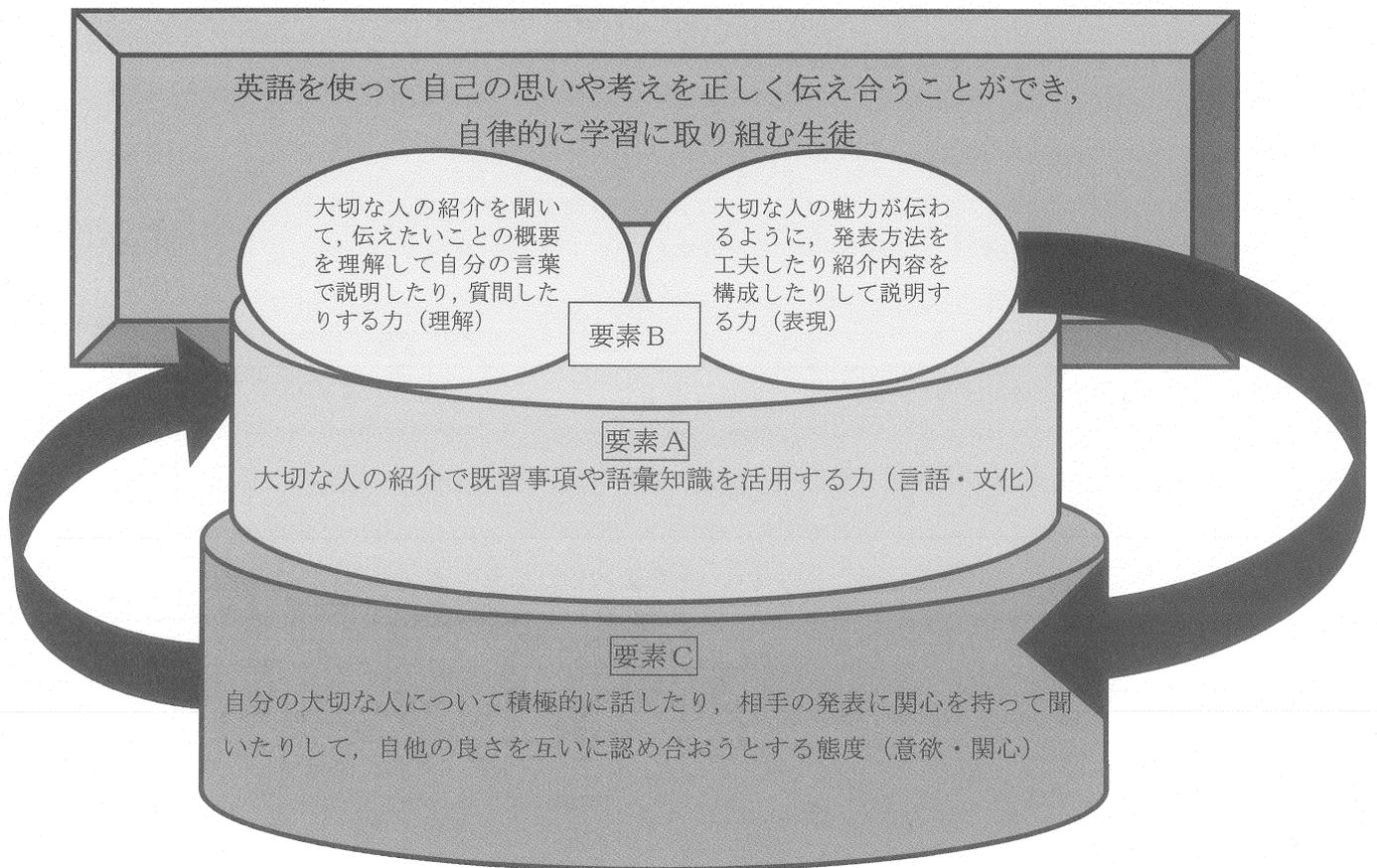
5 単元について

(1) 教科テーマと単元との関わり

本年度英語科では教科テーマを「Fluency と Adequacy の両立をめざした授業開発～Speaking の力を高めるために～」と設定し、英語を使って自己の思いや考えを正しく伝え合うことができ、自律的に学習に取り組む生徒の育成をめざしている。1学期にはまとめ活動として「自己紹介」をおこなった。生徒は、英語で自分自身のことについて話すことの楽しさを実感し、「相手に伝えたい」という意欲をもって活動に取り組むことができた。既習表現を用いて自己紹介するだけでなく、自分の言いたいことをどのように表現すればいいのか自ら考えることで「友だちに自分のこんな一面を知ってほしい」という生徒の思いに迫ることができた。

本単元では、「大切な人の紹介」を show and tell でおこなう。生徒は大切な人の似顔絵や写真、大切な人と自分との関係を示す写真や絵を準備する。視覚資料をもとに説明することで、大切な人がどのような人物か、自分との関わりやその人が自分に与える影響など、大切な人の魅力に迫る内容を構成していく。語彙知識をさらに身に付けた生徒が、伝えたい思いを自由に表現することのできる題材と考える。「大切な人の魅力に迫る」とは「自分自身の大切な人の魅力を相手に知ってほしい」友だちの大切な人にはどんな魅力があるか知りたい」という生徒同士の思いを追究することである。単元を通して他者理解を図り、生徒同士が相手の魅力を再発見できるような活動としたい。

本単元で特に意識した要素は2つある。1つ目は「自己の思いや考えを言ったり書いたりして相手に伝える力」の育成である。単元の前半では、1学期におこなった自己紹介スピーチの反省をもとに、話し手として、アイコンタクト・はっきりした声・聞き取りやすい早さなどを意識することで、発表方法を中心にパフォーマンスの質をあげる。大切な人の魅力が伝わるように、発表方法を工夫したり紹介内容を構成したりして相手に伝える力を身に付けていく。2つ目は「読んだり聞いたりして内容を理解したり、それに適切に応じたりする力」の育成である。単元の後半では、聞き手と話し手が発表内容についてのやりとりをおこない、大切な人の魅力に迫る。生徒は意欲的に活動に取り組み、相手の発表を聞く際には反応を返す姿勢が定着されつつある。しかし、相手の話していることがきちんと理解できているのか疑問が残る。そこで本単元では、話し手の伝えたいことを聞き手が理解できているか interactive なやりとりを通して確かめ合う活動を行う。聞き手は、相手の発表から印象に残ったことを自分の言葉で説明したり、分からないことを聞き返したりする力を身に付けていく。またこれは、話し手にとっても有益な活動となる。聞き手からのフィードバックによって、話し手は相手に自分の思いが伝わったと実感することができる。また、聞き手が理解できていない場合に言葉を補ったり説明の仕方を変えたりしていくことで、自らより適切な表現方法を見つけていくことができる。生徒は interactive なやりとりを通して、「自分の思いが伝わった」「相手の思いが分かった」「相手の思いをもっと知りたい」という実感を持ち、本単元のねらいに迫ることができると考える。また、こうした目の前の相手を意識したやりとりが生徒の fluency と adequacy を育成するための手立てとなると考える。本単元で意識した要素のつながりを図1の構造図に示す。



【図1：本単元で意識した構造図】

(2) 指導計画 (7時間扱い)

時	○目標 ・授業内容	主な要素		
		A	B	C
第1時	<p><My Important Person Introduction></p> <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を用いて身近な人について簡単な紹介をする。 自分の大切な人についてアイデアを膨らめる。 <p>○既習事項を用いて身近な人について紹介することができる。</p> <p>(言語や文化についての知識・理解)</p>	○		○
第2時	<p><My Important Person Preparation></p> <ul style="list-style-type: none"> 大切な人について紹介するための視覚資料を作成し、紹介内容を構成したり発表方法を具体的に考えたりする。 <p>○視覚資料をもとに、紹介内容を構成したり発表の仕方を考えたりすることができる。</p> <p>(外国語表現の能力)</p>		○	○
第3時	<p><My Important Person Preparation></p> <ul style="list-style-type: none"> 第1時、第2時のアイデアをもとに、大切な人の魅力について相手に伝えたいポイントを書き出して紹介する。 <p>○大切な人について伝えたいポイントを意識しながら視覚資料を使って相手に紹介することができる。</p> <p>(外国語表現の能力)</p>	○	○	

第4時	<p><My Important Person Pair Practice></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの発表練習を行う。 ・コミュニケーションマナーを意識して相手の紹介を聞く。 ・大切な人の魅力が相手に伝わるように、紹介内容や発表方法を改善する。 <p>○相手の紹介に対して、相槌や反応を返すなどして関心を持ちながら聞くことができる。</p> <p>(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p>		○	○
第5時 本時	<p><My Important Person Group Practice></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの発表を行う <p>○大切な人の魅力を伝えるために、紹介内容や発表方法を工夫して発表している。</p> <p>○相手の紹介の概要を理解して、自分の言葉で説明したり相手に質問したりすることができる。</p> <p>(外国語表現の能力) (外国語理解の能力)</p>		○	○
第6時 第7時	<p><My Important Person Show & Tell></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体発表を行う。 <p>○大切な人の魅力について積極的に話したり、相手の反応や質問に応じて適切なやり取りをしたりすることができる。</p> <p>(外国語表現の能力) (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p>		○	○

6 本時について

(1) 授業名 My Important Person (5/7)

(2) 目標

- ・大切な人の魅力を伝えるために、紹介内容や発表方法を工夫して発表している。

【要素B】(外国語表現の能力)

- ・相手の発表を聞いて、伝えたいことの概要を理解し、自分の言葉で説明したり相手に質問したりすることができる。

【要素B】(外国語理解の能力)

(3) 授業過程

学習活動	・支援及び留意点 ◎評価	形態・時間
Warm-up ○English song	・元気な声で歌を歌い、雰囲気作りをおこなう。	All 5
Warm-up2 ○small talk	・和やかな雰囲気です、ペアと会話をする。 ・コミュニケーションマナーを意識する。	Pair 5

<p>Today's goal</p> <p>話し手・聞き手としての活動目標を意識して取り組みましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認，発表に向けた準備・心構えをする。 	<p>Individual</p> <p>5</p>
<p>Show & Tell</p> <p>Let's talk about your important person!</p> <p>S1: Hello, everyone. Let me introduce my important person. Look at this picture. This is Risa. She is my friend and a good rival. She is from Shimada. She is 13 years old. I'll tell you 2 things about her. First, about basketball. She plays basketball. She practices very hard every day. I play basketball with her on weekends. Next, about study. Look at the next picture. She studies hard. She is good at English. She speaks English well. She is a hard worker. I want to be a great person like her. That's why she is my important person. Thank you.</p> <p>S2: Thank you very much, S1. Do you have any comments or questions?</p> <p>S3: Yes. She plays basketball every day. Does she play basketball well?</p> <p>S1: Yes, she does. She is a regular player.</p> <p>S3: That's nice.</p> <p>S4: She studies hard. What subject does she like?</p> <p>S1: She likes English. She has Eiken.</p> <p>S4: Really?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1人4分程度（発表1分30秒+質問2分30秒）設けて小集団の中でローテーションする。 ・司会者はスムーズに進行するように進んで話を切り出したり聞き手から質問を引き出したりしていく。 <p>◎大切な人の魅力を伝えるために，紹介内容や発表方法を工夫している。</p> <p>【要素B】（外国語表現の能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことが相手に伝わっているか，相手の反応を見ながら発言したり，相手が理解できていないようであれば，言葉を補ったりするように促す。 <p>◎相手のスピーチを聞いて伝えたいことの概要を理解し，自分の言葉で説明したり相手に質問したりすることができる。</p> <p>【要素B】（外国語理解の能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず一人一言は発言するように促す。質問をして終わるのではなく，反応を示したり，話題を広げたりして内容を深めていく。 	<p>Group</p> <p>20</p>
<p>Self-Reflection</p> <p>発表を振り返り，内容や発表方法を改善していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eye contact を意識することができた。 ・相手の反応を見ながら写真を提示して話すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じグループの発表者に対するパフォーマンスや内容に対するフィードバックをおこなう。 ・自分の話し手，聞き手としての目標に対する振り返りをおこなう。 	<p>Individual</p> <p>10</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・説明する時に早口になってしまうので、相手が聞き取りやすいように気をつけたい。 ・発表者の伝えたいことをしっかり聞きとることができた。 ・相手のスピーチを聞いて概要はつかめるが、質問を考えるのは難しい。 ・相手の発表のよさを見つけて、自分にも取り入れていきたい。 		
<p>Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表の振り返りを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する価値づけと次回に向けての改善点をおさえる。 	<p style="text-align: center;">All 5</p>